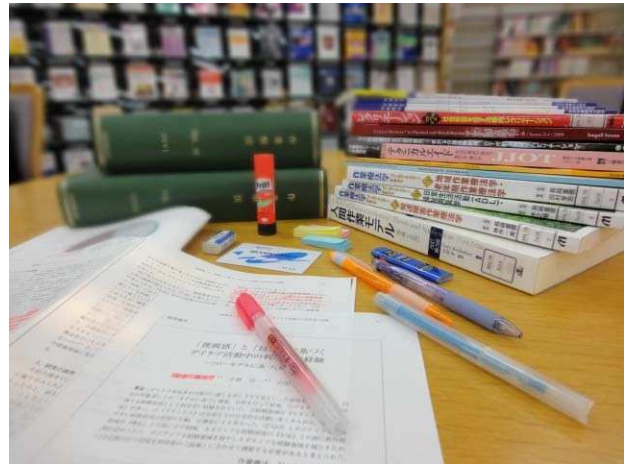


学生生活について

「特技」

私の特技は「自分を振り返ること」です。物事に対して良い点・悪い点を考え、悪い点に関しては何がいけなかったのかの原因と、今後どうしていくべきなのかの対策を考えるよう心掛けています。今までは、後悔をするだけで自分を責める考え方ができませんでした。が、大学生活のレポート課題やグループワークを通して、反省点から先のことを考える視点を持つことができるようになりました。自分の考えを言葉にして読み手に伝えるためのレポート課題によって考えのまとめ方を学び、また、グループワークで他者の意見を聞くことで様々な考え方を知り、「考える」ということを身に付けられたのだと思います。



作業療法を学ぶ上で、「考える」ことは重要です。対象者を観るだけではなく、対象者との接し方など自分についても考える必要があると思います。自分について考えることは難しいことではありますが、大学生活の中で考える機会を与えてもらうことにより、相手の気持ちに寄り添った作業療法士に近づけるのではないかと思います。

「お気に入りの場所」

授業以外での大学生活の大半はカフェテリア「アペシオス」で過ごしています。学食は 300 円~500 円でボリュームのあるバランスのとれた食事をとることができ、多くの学生が利用しています。食堂には、電子レンジ、熱湯、お茶や冷水などの飲み物が用意されており、誰でも自由に使用することができます。



お昼ご飯を食べる食堂としてはもちろん、空き時間には友達とお喋りをしてゆっくり過ごしたり、昼寝をしたりリラックスする場でもあります。また、机が大きく広々としているためグループワークで使われることも多く、学びの場でもあります。

食堂に行けば誰かはいらるだろうと思って、人とのつながりを持てる場所となっています。

2015年卒業生（6期生） 石川さんが相田さんの紹介をします！



相田さんはいつも笑顔絶やさず人と接することが出来ます。一緒にいる人を楽しませてくれ、周りを笑顔にすることが出来るため彼女は多くの人に好かれる、愛されキャラだと思います。また、体調がすぐれない人やなんとなく元気がない人に対してすぐに気づくことができ、優しく接したり、時にはあえてそっとしておくこともできる心遣いが自然と出来る女の子です。また、しっかりとした一面もあり、自分が大変な立場であっても、自分だけとは決して言わずにほかの人にも大変だから、と考えることが出来るため、彼女の口から愚痴を聞くことはあまりありません。また、話が聞き上手で、長い話やまとまらない話であっても「うんうん」と聞いてくれて相手が話しやすい雰囲気をつくってくれます。授業の時であっても、プリントなどの配布物をほかの人の分を取ってきてくれるなど、グループで話し合う際のまとめ役を務めてくれることもあります。

作業療法士になって (相田さん)

「近況」

作業療法士一年目は、分からないことだらけです。特にアプローチ方法を考えることに難しさを感じています。実習で見てきたアプローチ内容を活用しつつ、先輩にアドバイスをもらいながら頑張っています。

「在学生へのメッセージ」

私は、働き初めてから学生時代にやっておけば良かったと後悔していることがあります。それは、「もっと色んなことに挑戦をする」ということです。

私は特技や趣味など自分の強みとなるものがなく、活用できる自分の経験談の乏しさを感じています。患者さんの人生は様々であり、過去に経験してきたことが多ければ、コミュニケーションの幅が広がると感じました。

また、OTは、自分自身を治療手段として使える職業だとも感じています。

勉強はもちろん大切ですが、遊びや趣味活動などを充実させることも大事なことです。時間のある学生時代だからこそ、様々なことに挑戦して、自身の経験値をあげてほしいと思います。

作業療法士になって (相田さん)

「近況」

「私は今、急性期、回復期、訪問リハビリと幅広く業務を行っている総合病院で働いています。面接時に希望を出し回復期病棟にて患者様とリハビリをしています。まだまだ分からないことだらけです。しかし、先輩にも相談しやすい環境や同期の支えがありだんだんと慣れて来たところです。

「在学生へのメッセージ」

学生時代の実習は本当に辛いと思いますが、1人の患者様をじっくり考えられる貴重な経験だったと今思います。レポートなどで勉強も忙しいと思いますが、友達と毎日会える環境は学生時代だけなのでたくさん思い出も作って欲しいと思います。

皆さんとOTRとしていつかお会いできるのを楽しみにしています。お互い頑張りましょう。」